

第 2 回アジア・スマートシティ会議を開催 アジア新興国の市長や国際機関と共に アジアの持続可能な都市づくりを世界に発信

1. 内容

- ・林市長による開会挨拶、北川環境副大臣、木原外務大臣政務官による基調講演に続き、参加者代表や国際機関等により、スマートシティ実現に向け、「都市セッション」と「ドナーセッション」の二つのセッションが行われました。
- ・「都市セッション」では、前日開催された「Asian Day」で、参加各都市から発表された、課題や取り組みを受けて、各都市の活発な議論が行われました。
- ・「ドナーセッション」では、環境省、外務省、JICA、アジア開発銀行（ADB）、経済協力開発機構（OECD）などから、参加都市への支援プログラムの紹介がなされました。
- ・会議では、アジア・スマートシティ会議をスマートシティを実現するための都市間の協力のプラットフォームとするため、定期的にこの会議を定期的に横浜で開催することが合意されました。

2. 背景

パシフィコ横浜で行われている「スマートシティウィーク」の中で、市内企業の海外展開支援や横浜のシティプロモーションを進めている「Y-PORT 事業」の一環として、本市が、平成 24 年 10 月に開催した「第 1 回アジア・スマートシティ」（11 都市参加）に続き、さらに多くのアジア諸都市（21 都市）が参加しました。

開催概要

日時： 平成 25 年 10 月 24 日（木）9:30-13:00

場所： パシフィコ横浜会議センター 503

主催： 横浜市

協力： 日経 BP 社

後援： 外務省、環境省、JICA（国際協力機構）

参加都市： バンコク都（タイ）、セブ市（フィリピン）、コロンボ市（スリランカ）、ダナン市（ベトナム）、北ダッカ市（バングラデシュ）、南ダッカ市（バングラデシュ）、フエ市（ベトナム）、ホーチミン市（ベトナム）、イスカンダル地域（マレーシア）、キャンディ市（スリランカ）、北九州市（日本）、マカッサル市（インドネシア）、北スマトラ州（インドネシア）、セベランプライ市（マレーシア）、ペナン島市（マレーシア）、プノンペン市（カンボジア）、ウランバートル市（モンゴル）、スバ市（フィジー）、ピエンチャン首都圏（ラオス）、ヤンゴン市（ミャンマー）、横浜市

参加機関： ADB（アジア開発銀行）、JICA（国際協力機構）、OECD（経済協力開発機構）、環境省、外務省、WRI（ワールド・リソース・インスティテュート）

プログラム

開会挨拶

横浜市長 林 文子



1. 基調講演 環境副大臣 北川 知克氏
「二国間クレジットを活用したアジアにおける低炭素都市づくり」



2. 基調講演 外務大臣政務官 木原 誠二氏
「アジアの発展に資する地方自治体の国際展開への支援」



3. パネルディスカッション ～都市セッション～
モデレータ：メリー・ジェーン・オルテガ氏（シティネット事務局長）



4. ネットワーキング



5. パネルディスカッション ～ドナーセッション～

モデレータ：メリー・ジェーン・オルテガ氏（シティネット事務局長）



6. 総括・記念撮影



環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家戦略プロジェクトのひとつです。横浜市は、平成 23 年 12 月、国から「環境未来都市」に選定されました。